

526

い、"否"と記入した者の姓名が加へられ、且つ犯罪者及び帰国受諾者と印づけられて居るといふ。尚ほ又新任監督官が中村義男に打ち明けた話にて傳へられたるに依れば、中村義男の Internes は全部何れかへ移動せしむる手筈に事つてゐるといふ。

午ね、古石の者が出所する處と目撃した同業者と息を凝らしてバウツクへ走り込め、右の道と告げ非を以昂奮振りまゐるが、何の方面へ出るか見届けると、橋内の西北端迄出から突然と彼等の姿と見送つてゐる後姿と同人達が別々の不安の念に駆込まれるのであつた。

早晩猛烈な降雨で痛快味んっぷりだつた。

三月二日(火)。

早朝からデマ木の葉の如く揺る。デマ木にはインターの生活は意義と失ふ、然し相手の顔と眺め"デマだらう"と否定し冗談を付け加へ去るだけの餘裕がもたらねる見へるのは、何より結構と云へる。

午ね七時、J-areaの食堂で大川先生の佛敎講話を聴きし出かける、今晚は相中寒い。

三月三日(水) 早朝 21度

今日は節句だといふに、気温遽に降り猛烈に寒さだ。バウツク入口に置いてあつたバケツの水は全部凍結して凍つて居る。昨夜は碓氷岡から

527

吹き込む北風の冷感、窓の床を出てストーブに
焚きつけた。昨日午前一時半、約一時間暖爐の味
り着いてゐた。

仕
ニ
ュ
ー
ジ
ャ
ン
ド

日本捕虜兵の報

近頃米軍のシルクを撮らぬのは聊か閑口だ。
警備は増へたが、米軍は金平は帝道に還えさ
うのは危険を感じる、相変らずの便所、午の四日目に
漸く若干の便所を見た。

ニューカニアで捕虜とされた兵士の監禁地
ニュージランドで暴動を起し、四十一名執殺され
六十三名の重傷を負い病院に収容され、護衛兵
一名即死、将校及び兵が一名死、負傷したと云ふ
今日のニュースは、日本人には至大のショックだ。

午後七時、吾の古友会の大川先生の佛教
講話があった、頗る興味深くと謹聴した。また次
に節制するつもりである。

三日四日(木)

カリフォルニア-Relocation Centerからの面会来訪
者の直接談話に接するところ、同地に在るニ
世は殆ど全命自衛的復讐を拒絶し、注目と慕いてゐる
と言ふ。其の理由は、自米市民権を無視し今に至つて、
舊兵に應ずべき理由は無いとの事だ。布達では
予定の千五百人も超過して約七千四百有人に達
してゐるが、大陸では各地のセンターでは
舊兵者は頗る少ないと云ふ。今回 Family Center